

<報道発表資料>

令和8年3月24日
京都市都市計画局
住宅室住宅管理課

市営住宅の空き住戸を活用した、医療従事者向け社宅利用の拡充について

京都市では、令和7年3月に市営住宅の空き住戸を、市民生活と密接に関わるサービスを提供する事業（介護・医療、子育て支援、交通、建設等）に従事する方々、いわゆる「エッセンシャルワーカー」向けの住戸として活用することとしました。

この度、令和7年3月から山科市営住宅においてエッセンシャルワーカー向けに空き住戸を活用され、さらに同団地集会所にて、周辺地域の健康増進活動を行っている「医療法人社団 洛和会」が、同市営住宅の空き住戸を、新たに5戸活用（計10戸）することとなりました。

【活用概要】

- 活用事業者 医療法人社団 洛和会（理事長 矢野 裕典）
（所在地）京都市中京区西ノ京車坂町9番地
（事業者紹介）設立日：昭和48年（1973年）7月2日設立
従業員数：約6,400名（令和7年4月現在）
運営施設：198施設
主な取組：京都・滋賀・東京を拠点に医療、介護、保育、教育といった各領域で社会的役割を果たしている、総合ヘルスケアグループです。「やさしい社会を創造する」というパーパスと、「いのちを見つめ、人間を支える」という新たなコーポレートスローガンを掲げ、医療・介護・健康保育・教育研究のフィールドで地域とともに、地域のために活動を続けています。

- 活用団地及び戸数
山科市営住宅第2棟（5戸）

【参考 整備済住戸内写真】



<問合せ先>

京都市都市計画局住宅室住宅管理課活用促進第一担当
電話：075-222-3631